

## 平成29年第1回定例教育委員会 会議録

1 日 時 平成29年2月23日(木) 9時30分開会  
10時10分閉会

2 場 所 長与町役場4階第1委員会室

3 出席者

教 育 長	勝 本 真 二
教育長職務代理者	原 田 成 信
委 員	村 上 光 子
委 員	野 口 眞 知 子
委 員	古 賀 清 彦

4 事務局

教 育 次 長	帯 田 由 寿
教育委員会理事	近 藤 徳 雄
教育総務課長	宮 司 裕 子
生涯学習課長	山 口 利 弘
教育総務課係長	和 田 久 美 子

5 会議録

○帯田教育次長

皆さん、おはようございます。

ただいまより、2月の定例教育委員会を開催いたします。はじめに勝本教育長にご挨拶をお願いいたします。

○勝本教育長

おはようございます。委員の皆様におかれましてはご多用中、ご出席いただきありがとうございます。1月は定例教育委員会に変えて、福岡の方で市町村の教育委員研究協議会、その後、山江村のICTの研修ということになりました。お疲れ様でした。

本年度も残すところひと月余りになりました。学校では、卒業式、修了式、評価の時期ということで、1年で最も多忙な時期になってまいりました。おかげさまで、皆様のご支援によりまして大きな事故等もなく順調にきております。これもひとえに皆様方のご協力のおかげと感謝しております。本日は報告が中心になるかと思いますが、この後、総合教育会議が予定されておりますので、効率的に会議を進めたいと思っております。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

○帯田教育次長

次に、12月22日に開催いたしました教育委員会の会議録につきまして、ご承認をお願いいたします。ご承認いただけますでしょうか。

○委員

はい。

○帯田教育次長

ご承認ありがとうございます。続きまして、報告でございます。

はじめに教育行政報告でございます。主なもののみの説明となります。1ページ目をお開きください。

教育総務課では、1月26日から27日にかけて、市町村教育委員会研究協議会が福岡市で、また熊本県の山江村におきまして、ICTの研修を実施しております。本日、定例教育委員会終了後、総合教育会議が開催されます。

次に学校教育課です。1月12日、町内英語暗唱大会を実施し、本町の代表となりました高田中学校2年生の(氏名)さんが最優秀賞に輝いております。2月1日、長与中学校研究発表会が開催され学力向上に資す自主学習の充実とICTの有効活用について研究発表がっております。2月2日、町立学校通学区域検討委員会を開催し、現状と今後の推移についてご説明を申し上げます。

最後に生涯学習課では1月8日、長与町成人式を開催し、男性224名、女性267名、計491名が晴れて成人となられております。1月11日、県教育長と語る会が開催されました。洗切小学校の洗切ふれあい塾を視察後、老人福祉センターにて、学校支援会議関係者と地域ぐるみの子育てについて意見交換が行われております。2月8日、西彼杵郡人権教育研究大会が「人のぬくもり心の豊かさを実感できるまちづくり」をテーマに、町民体育館で開催されました。講演では儀間由里香さんによる「セクシュアリティを超えて、多様性が彩る未来」と題して講演がっております。以上で教育行政を終わります。

次に学校事故でございます。長与南小学校で事故が起きておりますので詳細につきましては、担当課長より報告します。

○近藤教育委員会理事

学校管理下の事故として、長与南小学校で同日に2件起こっています。1件目は朝の登校時の1年生が、車と接触、こつんと当たったというような交通事故であったようですが、子ども自身が「大丈夫です」と言ってそのまま学校に来たということで、その当たった側の方が、特定できないまま現在に至っています。その後、その子が、やっぱり痛いということで保健室で診たところ軽い打撲で骨折等はないということで報告を受けております。もう1件は、同日1月20日の体育の授業中に、跳び箱の台上前転の練習をしていた女兒が、跳び箱の高いところから落下して腰を打ち、動かすのが難しいとい

うことで救急車を呼んで搬送をしております。1週間様子を見て体を動かしていいということで現状といたしましては大丈夫というような状況です。それから学校管理下以外なのですが、1月17日の下校後、長与北小学校の1年生の男子児童が交通事故にあっております。こちらから舟津橋方向に行くと、右手にあるセブンイレブンのところから、飛び出した子どもが、軽貨物車にはねられてドクターヘリで市民病院に運ばれたというような事故がありました。しばらく様子を見るために入院ということでしたが、1月30日から通常登校しております、別段変わりなく生活しているということで事なきを得ています。それ以外で正式な報告ではありませんが、自転車での事故、怪我というようなことの報告もあっておりますが、大きなことには至っていません。

つけ加えまして、本年度のインフルエンザの罹患状況についても合わせてご報告いたします。平成28年度、今日現在、3校5学級で学級閉鎖を行ったところですが、いずれも2日間ずつの学級閉鎖をすることによって、大規模な流行にはつながっていないという現状です。また、西彼保健所からの情報では、インフルエンザの流行期が下降傾向になっているということでしたので、少し峠は越えたのかなと思っております。ただし、昨年度は3月の中旬に学級閉鎖をした学校がございますので、今後もその推移に気をつけてまいりたいというふうに思っております。以上です。

○帯田教育次長

続きまして委任事項でございますが、委任はございません。これをもちまして、報告を終わります。以上まででご質問等はございませんか。

○村上委員

行政報告の中で、2月8日の人権教育研究大会は、毎年、案内状がきていたのですが、今年はきませんでした。できましたら案内状をいただけたら、勉強の機会になるのではないかなと思っておりますのでよろしく願いいたします。長与中学校研究発表会なども、出席が許せるものならば案内をいただけたら研修の機会になるのではないかと思います。

それから長与南小の事故の場所を教えてください。1月17日の事故は、私がたまたまセブンイレブン前を車で通りかかった時、子どもが倒れていて、人だかりがしていました。横断歩道の上だったと思うのですが、横断歩道を渡っているのにその児童に当たる、どういう状況だったのか詳しくわかれば教えてください。

○山口生涯学習課長

次年度から、人権教育研究大会につきましては、各教育委員さんに案内状を差し上げるようにしたいと思います。申し訳ございませんでした。

○近藤教育委員会理事

長与中学校の研究発表大会の案内につきましては申し訳ございませんでした。学校から直接発送ということになっていたのですが、十分確認ができていませんでした。

それから、事故の状況についてですが、長与南小の子どもの状況は、長与駅に下って

きたところのファミリーマートやチャンポン屋があるところの横断歩道に児童が出たときに

左折してきた車がこつんと当たったというような状況です。それから、長与北小のセブンイレブンのところの大きな事故は、児童がセブンイレブンのある側の自宅から尻無川公園のところのそろばん塾に行くために横断歩道をずっと渡っていた、一方役場側から岡方面に走ってきた車は、児童に気づいてブレーキを踏んだが間に合わなかったというような供述があっているようです。ただし、横断歩道上での事故ということで、実況見分なしに即座に逮捕ということで身柄を拘束されたというふうにお伺いしています。

○野口委員

学校教育課の中の長与町内英語暗唱大会で優勝なさった高田中の（氏名）さんは、県大会の結果はどうだったのでしょうか。

○近藤教育委員会理事

先程、次長の説明の中でもありましたが、県大会は2月4日に大村で行われました。（氏名）さんは、最優秀賞でした。

○野口委員

素晴らしいですね。英語の先生方もきっとお喜びになったことと思います。

2月1日の長与中学校研究発表会については、私は山江村を視察させていただいた後の研究発表会ということで、案内はなかったのですが、私の方からお願いして参加させていただきました。それに関連して1月26日の山江村の研修は、管理職以外の先生たちと一緒に視察をするということは、私の記憶の中ではなかったように思うのですが、今回はICTに携わっている先生たち生の声を聴けて情報を得ることができ、学校現場で一生懸命頑張っておられる先生たちと懇意になれたことはとても大きな収益だと思いました。2月1日の研究発表会を拝見させていただいたのですが、もう少し来校者が多くてもよかったのではないかと、ひところのICT教育に対する関心が少し落ちついてきている結果なのかなと思ったのですが、長与の教育は注目されていますので、お越しになった先生たちの数がもう少し多かったらよかったかなと思います。内容もとても感心するものが多かったのです、私の方はあえて申し込んで参加させていただいてよかったと思っています。

○近藤教育委員会理事

長与中学校のICTの拠点校事業というのが、28年度から30年度までの3カ年の研究委託ということで、実は今年度はこういうことを始めましたという中間の中間で、まだまだ成果という形で上がってくる時点での発表にはなっていないというのがその人数への反映かなと思います。要するに、本発表と呼ばれる30年度の発表においては、今回の数より増えるのではないかと思います。ただし、注目すべきは、総勢75人の参加者があっていますが、75人の参加者のうち町外から37人、各市町教委、県教委の関係者としての来校者が16人、要するに75人中50人以上は長与町外から、これか

らの県のICT事業はどうあるのかというような情報を得るために集まった研究会、自分たちもこれから始めるとか、自分たちもどのようにやっていくのがいいのかということきっかけづくりの発表ということであったがゆえの結果と分析をしているところです。

○野口委員

ICT教育では先駆的な立場にある長与町が、今後もどんどん活躍していただけることを願っています。

○原田教育長職務代理者

学校教育課の中で、2月2日に通学区域検討委員会ということで会議があっていますが、町内の場合は学校選択区域がある中で、今回の会議では何か問題提起があったのか、お知らせいただければと思います。

○近藤教育委員会理事

今のご質問についてお答えしますが、今年度は大きな課題になるというところではございませんでした。今生まれている0歳児の子どもを入れてすべての学校の今後5年間の学級数などを計算できる状況なのですが、そこまでを計算すると、小学校においては、増加も減少もほぼ緩やかな状態で、激減とか激増があまり見込まれないということになっています。皆さんが関心のあられる洗切小学校なのですが、今現在が10学級なのですが、今後11学級もしくは12学級のところで、少しずつ変わりながら安定した状態になるであろうという予測を立てていて、先ほどご指摘のあった選択区域についても、今は検討してもどうしようもないということで、今後それぞれの学年が単学級になることが6年後見込まれるというような状況を見計らった時点から再度、通学区域の検討に入ることになるかと思います。しかも、ずっと課題になってきておりました緑ヶ丘地域のほぼ9割が長与小学校を選択していた状況が変わりつつあります。長与小学校の選択の率が下がって、本来の校区である洗切小学校に通うというような子どもさんも、やや増えてきている状況です。入学者の状況しかわからないのですが、平成28年度には91%ぐらいが長与小学校選択ということだったのですが、次の入学者については68%、7割を切るぐらいしか長与小学校を選択しないということになってきましたので、これが今後6年間もし続くとすれば、緑ヶ丘の選択区域についても、一定解消をできるのではないかなと流動的ですが、今年度については深めて討議するような部分ではございませんでした。

○村上委員

今の説明でよくわかったのですが、長与小学校選択が68%になっているということですが、あとの32%が、即洗切小学校に行くとは限らないですね。私立に行くという保護者の意見も聞いたりしますが、そのあたりの状況がわかれば教えて下さい。

○近藤教育委員会理事

委員さんのご指摘のとおり、これは推定値にすぎません。住民基本台帳における年齢の地域ごとの人数を割り出して、それに一定の係数を掛け合わせて、その上での計算で

すので、そのうちで私学に行く子どもがいるかどうかというのはその時点での保護者のご意向なのでそこまでは計算できていないという状況です。

○勝本教育長

ただ言えることは、今、生涯学習課が県の委託を受けて、「洗切ふれあい塾」というのをして、学校が終わった後に4年生ぐらいからの児童を対象に週1回勉強を見てくれています。それとやはり、長与小学校の汲々な状態に対して個に応じた教育ができるということを洗切小学校もPRしているみたいですし、そういったことが少しずつ保護者に浸透しているのかなと思っております。こういう状況でいってくれば、町内の学校のバランスとしては、いい方向であるように思います。

○村上委員

私も先日洗切ふれあい塾にレザークラフトで行かせていただきました。子どもたちが18名、保護者も5～6人いたわけですが、子どもたちが落ちついて一生懸命やる姿と、校長先生、教頭先生の対応ぶりで、学校全体の雰囲気は何か変わってきているという、そういう思いを受け取りました。

○野口委員

1月11日の長崎県教育長と語る会の討論の内容がわかったら教えてください。

○山口生涯課長

資料を持ち合わせていないので、記憶で説明させていただきたいと思いますが、まず、先程お話がありました洗切ふれあい塾の視察をして様子を見ていただきました。その後、勤労青少年ホームに場所を移し、各小中学校の学校支援会議の代表の方に集まっただきまして、各学校での活動内容の説明、その後、県の教育長さんと意見交換というふうなことでいたしておるところです。

○野口委員

私が洗切校区に住んでおりますので、子どもたちと触れ合う時に洗切ふれあい塾のことをいろいろ尋ねているのですが、残念ながら私が知っているお子さんたちは行っていないということで、なかなか情報が入ってこないのですが、実際に行っているお子さんたちから生の声を聞けたらいいなと思っています。すばらしい取り組みだと感心しています。

○村上委員

今のお話をお聞きしてですが、県の教育長さんが長与町にはるばると来ていただいて、もちろん管轄は違うにしろ、私たち教育委員としては参加してみたかったと私は思います。だから、1つ1つ案内状を出すか出さないかなどいろいろ考えられると思うのですが、もしできたら、例えば1カ月2カ月のここに書かれてあるような行事予定表で教育委員も参加してもいいですよというような一覧表をいただけたら切手代の節約にもなると思いますし、それを見て、教育委員さん各々選択して、自分で行きたいものに行けるのではないかと思いますので、希望を述べさせていただきます。

○帯田教育次長

委員さんおっしゃるとおり、いろんな情報を提供させていただいて、参加できるものにはぜひ参加をしていただきたいと思います。情報提供のやり方に関しましてはちょっと研究をさせていただきたいというふうに思います。

それから先程の県の教育長と語る会なのですが、これは私どもの主催ではなく県の主催で、参加者に関しては県の方からの限定がございまして、私どもで動かせない部分があり大変申し訳なかったのですが、そういうことでご理解をいただきたいと思います。

○野口委員

洗切小学校便りに載っていたので、県の教育長さんが来られたのに全然、関わっていないということが残念だなと思いました。

○帯田教育次長

続きまして、議事でございますが、今回議事はございません。

その他でございますが、事務局の方ではございませんので委員様の方から何かございませんでしょうか。

○村上委員

清水ミチコさんの件について、入場の状況等を教えてください。

○山口生涯学習課長

3月5日の清水ミチコ トーク&ライブですが、それにつきましては生涯学習課で販売する分、文化協会で販売する分、文化ホールで販売する分ということで、3パターンで販売をさせていただいております。3～4日前で生涯学習課販売分では、あと20～30席ほど残っているというふうなことで報告を受けています。

○帯田次長

他にないようでしたら、これで2月の定例教育委員会を閉会いたします。  
ありがとうございました。

注：個人情報に関連する部分については、内容を（ ）に置き換えています。